

平成 30年11月15日

政務活動費成果届出書

届出者 小出義一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

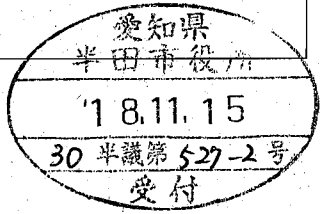
- ・目的は達成できた。
- ・在住外国人の大半は、日本語を理解できる。ゴミ出しのパンフレットなどの多言語化が進んでいるが、難しい表現を見直す“やさしい日本語”を使い工夫が必要。
- ・高校入試には2000字の漢字を使える語学力が求められている。外国人の子ども達にとって、大きな壁となっている。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・パンフレットなどの案内の作成時日は、在住外国人の立場に立ちやさしい日本語を使うなどの工夫が必要。
- ・在住外国人の声も行政に反映できるよう、自治区加入の促進が必要

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



平成30年11月15日

政務活動費成果届出書

届出者 加藤美幸

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。「外国人として市民権を得るためには」カーティス祖父江(日本福祉大助教)講演から、日本は安心安全な国であるが、外国人にとって最大の壁は日本語で、会話はできても漢字が解らず高校受験が難しい現状や、日本語による手書きの書類が書けないなど、外国人が将来の夢を抱くことをあきらめなければならないのが現実と知りました。このことは、半田市でも同じですが、具体的な課題や対策が講じられぬまま時間の経過とともに問題を膨らませていることは、正しくないと考えさせられました。

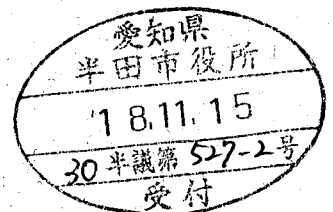
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

次の総合計画策定にむけ、多文化共生や国際化への対応を真剣に論じるべきと考えます。わずかな滞在時間の外国人観光客にお金を使うより、その街に定住し税金を納めている外国人に対して、もっと配慮をと、外国人講師の本音を聞きました。外国人に選挙権はなくても市民として意見を述べまちづくりに参画してもらうことは、多文化共生への必要な施策と考えられます。審議会などに外国人の委員を登用するなど多様で柔軟な視点を求める改善が必要です。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank box for additional remarks.

| | | |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
| | | |



平成30年11月15日

政務活動費成果届出書

届出者 久世孝宏

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成でき、以下の知識を得た。
・ 住み暮らす外国人にとって、言葉の壁、特に書くことに対する壁は大きい。
(聞く、話すは住み暮らす外国人の7割が概ねできると回答している。)
・ 住み暮らす外国人に対しては、「やさしい日本語」を共通言語とする。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・ 住み暮らす外国人、ならびに、半田市民に「やさしい日本語」の習得をさせる。
・ 企業を含む市民に対する、意識啓発の実施。
住み暮らす外国人の7割は、聞く・話すことはできる、という認識のもと、地域で当たり前のように共存する意識を醸成する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

| | | |
|-----|----|-------|
| | 議長 | 管理委員長 |
| 確認欄 | | |

